

「戦争準備絶対反対！」 ★護憲平和行進六十周年を迎えて

・今から六十年前、この浜松で公道を使つて大軍事パレードが行われたことをご存知でしょうか？ この時、歴史に残る貴重な出来事がありました。

戦車百台、戦闘機四十五機の大軍事パレード

◆六十年前の十一月五日、浜松市で自衛隊創立十四周年の記念式が行われました。式後、当時の体育館から市役所前、連尺交差点、田町まで約1キロの公道を使つて、戦闘車両約100台の行進、空にはジェット戦闘機45機が飛行する大軍事パレードが行われました。

◆市役所では庁舎壁面を使つてレンジャー部隊の綱渡り実演が行われ、市民や学童三千人が集まりました。しかしこの行事に反対する市民はいませんでした。

たった一人で抗議デモを行ったM牧師

◆ところがこの時、行進最後部をたった一人で「戦争準備絶対反対！」のプラカードを掲げてデモを敢行した人がいました。遠州教会の松本美実牧師です。この出来事は、当時の中日新聞に写真付きで載っています。(↓裏面)
彼は先の大戦中一貫して戦争反対を訴え続けた人でした。

◆このM牧師に沿道から声援を送り続けたこれもたった一人の平和の戦友が浜松盲学校の溝口正教諭でした。この後、お二人はこの行進を続けようと誓い、以後今日まで60年、休む事無く毎月一回この行進が継続されています。

この六十年の世界と日本の歩みは

◆お二人は、この様なデモが必要無くなる日本の姿を願いつつ他界されました。しかし世界も日本もまだまだこの様なデモ行進が必要な姿に向かっています。

◆2022年には、歴史の針を百年逆戻りさせたようなロシア・ウクライナ戦争が勃発、その翌年10月7日イスラエル・ガザ戦争が勃発し未だに終息の見通しはありません。

◆そして日本は、これを契機に、軍事力を増強し戦争準備に突き進んでいます。

一人になつてもこの行進は続ける

◆戦争そして戦争準備に明け暮れる世界と日本の姿は絶対に間違っています。もしM牧師が生きていたら、また1人でも「戦争準備絶対反対！」のプラカードを掲げて歩くでしょう。

◆私たちが憲法を守る会は、松本牧師の遺志を継いで、このデモが1人になつても続けるという意気込みでこの平和行進を続けています。

二〇二四年十一月十日(日) 護憲平和行進(通算六九三回目) ★60周年記念
★浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中央区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合



(最後に一人の牧師が「戦争準備絶対反対」のプラカードを掲げて行進したことが書かれている)

1964(昭和39)11.6
中日新聞
浜松
空陸の大パレード
自衛隊十四周年を記念

自衛隊創立十四周年を記念した
陸、空のパレードが五日午後零時
三十分から浜松市であり、陸上自
衛隊御殿場副門駐とん第一特科連
隊戦車隊などから約百台の戦車、
火砲、トラックや航空自衛隊浜松
北基地のF86Fジェット戦闘機な
ど四十五機の飛行機が参加した。

同市役所前に闘兵台が設けられ
藤原陸上自衛隊第一師団長、飯塚
航空自衛隊術科教育長、平山浜松
市長、戸田浜松商議所会頭ら闘兵
者に花束が贈られたあと自衛隊富
士学校、第一師団の音楽隊を先頭
にパレードが開始され、体育館前
から市役所前を通り連尺交差点か

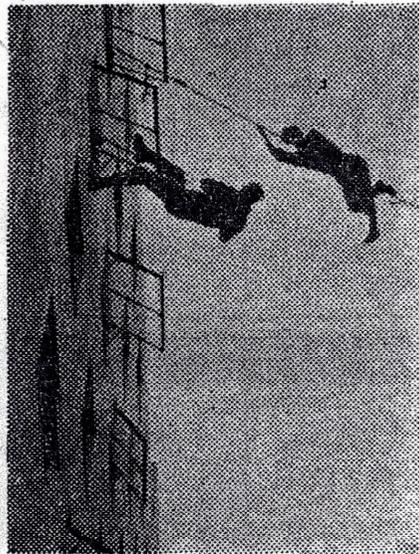


行進する戦車部隊

ら田町まで約一キロを戦車、M15自
操高射砲、火砲などが行進、浜松
市消防車五十台がこれに続いた。
空にはジェット機やヘリコプター
の編隊飛行があった。

このあと陸上自衛隊レンジャー
部隊が同市役所三階にロープを
張り救助訓練をみせた。市役所前
は市職員や近くの学童たち約三千
人が集まった。

沿道は自衛隊の威力を見よ
うと集まった人で聖火ランナーの
とき以来の黒山の人だかりだった
が、戦車の行進の横を「戦争準備
絶対反対」と書いたプラカードを
手にしてデモ行進するひとりの牧
師さんが現われ、見物人もこのと
り合わせを複雑な表情で見守って
いた。



レンジャー部隊による地
上十五枚での綱渡り